

第21回 宍粟市総合教育会議

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年7月18日 午前11時00分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第21回 宍粟市総合教育会議 会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年7月18日（火） 午前11時00分～午後11時40分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

構成委員

福元晶三	市長	中田直人	教育長
片山繁樹	委員	金本一二	委員
飯田さおり	委員	中川まゆみ	委員

事務局

大谷奈雅子	教育部長	小河秀義	教育部次長
大砂正則	次長兼教育総務課長	中田 吏	学校教育課長
小池信仁	こども未来課長	岡内由里	こども未来課長（指導担当）
水口恵子	社会教育文化財課長	西林文隆	次長兼施設整備課長
大北真彰	山崎学校給食センター所長	中尾善弘	次長兼まちづくり推進課長
岩本浩二	教育総務課副課長		

1 開会

● 福元市長あいさつ

教育委員会から引き続いての総合教育会議となりますが、よろしく申し上げます。

梅雨末期に入り、非常に全国的に大雨が続いておりまして、大きな被害を受けられている地域があります。あらためて被災された方にお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復興を願います。

宍粟市も平成30年の豪雨災害から7月6日で丸5年を迎えました。防災意識を高め安全安心なまちづくりに向けて、それぞれ私たちも皆さん方と一緒に取組を進めなくてはならないと再認識をしたところです。

梅雨明け宣言はまだありませんが、連日厳しい暑さが続いております。

子どもたちも間もなく夏休みに入りますし、また教育現場でも熱中症対策に大変ご苦勞をいただいているかと思いますが、皆さん健康管理には十分に注意いただきたいと思います。

また、新型コロナについてもご承知のとおりであります。7月以降、感染者が県内でも、全国的にも増えており、市内の学校現場でも感染者が出て、学級閉鎖になった学校もあるところです。市民の皆さんにもお願いしておりますが、感染症対策をしながら、可能な限り、日常に戻していきたいということで、それぞれ努力いただいているところであります。

今日は、宍粟市教育大綱の見直しと、前回の会議でも協議させていただきましたスポーツに関する事務の市長部局への移管について、協議いただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

2 協議報告事項

(1) 宍粟市教育大綱の見直しについて

● 事務局より説明

宍粟市教育大綱（案）により、しそうの子ども生き生きプランの後期基本計画の策定、宍粟市スポーツ推進計画の策定等に伴う今回の見直し内容について、大砂次長兼教育総務課長が説明を行った。

● 委員からの意見及び質問並びに事務局からの回答等

(福元市長)

事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか。

特にご意見等がないようであれば、宍粟市教育大綱の見直しについて、原案のとおり改訂することとしてよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(福元市長)

それではこれをもって正式に大綱を改訂させていただきます。

(2) スポーツに関する事務の市長部局への移管について

● 福元市長より説明

スポーツに関する事務につきましては、これまで市長部局で補助執行しておりました。市民生活部まちづくり推進課で担当しており、市民の健康とまちづくりも含めて、推進してきたところであります。

先ほどの協議でも話にありましたが、昨年度、宍粟市スポーツ推進計画を策定しました。これは、スポーツ関係団体、学校関係者、社会教育関係者にお集まりいただき、それぞれ、スポーツを通じての市民の健康づくり、まちづくりなど、それぞれの立場から議論いただきました。

特に、人生100年時代の到来は、もう言われて久しいところでありますが、宍粟市におきましても、子どもから高齢者に至るまで、あらゆるジャンルの中でスポーツに親しんでいるところであり、基本的には、健康増進だったり、仲間づくりだったり为中心であります。今日の大きな課題として、それをまちづくりにどう生かしていくかが課題だと感じています。少子高齢化・人口減少が進んでいく中で、やはりまちづくりという概念を持ってスポーツを推進し振興を図ることが非常に大事だと考えています。従前より、さまざまな団体がさまざまな形でスポーツを推進していただいているところですが、それをまちづくり・人づくりにつなげ、市の施策とうまく連携させながら、各部局とも連携して、スポーツへの関心を高め、市民の体力向上や健康増進につなげていくことが重要と考えています。

また、特に部活動のあり方についても大きな課題となっております。これは指導者の問題、あるいは先生の働き方改革の問題、そういったことも含めて、近い将来には、社会体育として地域で支えていくという形へ移行していく流れかと思えます。

これらのことも含め、これまでは、教育委員会の社会教育分野としてスポーツを推進していただいていたところではありますが、あらためて、行政全体で横断的に各部局とも連携しながら、スポーツを推進することが非常に重要でないかと考えております。

兵庫県におきましても、従来、兵庫県教育委員会がスポーツに関する事務を所管しておりましたが、この4月から知事部局に移管されております。県政全体で、このスポーツを通じて県民の体力向上であったり、県全体のそれぞれ地域に応じたまちづくりを推進していきたいとの思いの中で、この4月から知事部局に移管されています。

宍粟市ではかねてより、スポーツの分野と生涯学習の分野において、一定、まちづくりという概念で、市長部局が補助執行しております。

その中で、今回、スポーツの分野については、補助執行から事務移管へと執行方法の見直しを行い、市長部局でスポーツ振興、市民の健康体力づくりも含めて、まちづくり・人づくりの部分と連携させながら推進していきたいとの思いであります。

今日の総合教育会議で、それぞれ委員の皆さんのご意見をいただき、前に進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。事務局で補足があれば申し上げます。

- **事務局より補足説明**

小河次長より、配布資料について説明

- **意見交換**

(福元市長)

中学校の部活動の地域移行の関係、また、それに関連しての教職員の働き方改革の関係について、国や県の動向が把握しきれない部分があるのですが、事務局で把握されている情報等がありましたら教えてください。

(小河次長)

部活動の地域移行の関係については、国からガイドラインが出され、また、情報交換の場が設けられているほか、スポーツ庁でモデル地域の募集が行われたりしている状況です。

庁内では、学校教育課とまちづくり推進課との間で情報共有の場を持っています。

少子高齢化が進んでいく中で、指導者の問題であったり、いわゆる受皿をどうつくっていくのがよいか、先行して進められている団体もその辺りに苦慮されていると聞いています。当面の間はそういった情報を収集する中で、具体的にどういった進め方をしていくのがよいか、検討を継続しているという状況であります。

(福元市長)

中学校のスキー大会への出場について、単体の学校ではなかなか難しいので、次年度からは千種スキークラブとして、中体連のほうに登録させていただきたいとの話があり、兵庫県教育委員会からもそういった方向性が出ていると聞きましたが、そういった動きはありますか。

(小河次長)

具体的に県からは聞き及んでないのですが、新聞報道等を見ますと、全国的にはいわゆる地域のクラブチームが、中体連にエントリーをされている例はあります。

(福元市長)

また情報がありましたら、情報共有をお願いします。

(中田教育長)

次長の話のとおりかと思いますが、市長がおっしゃるスキーの件は、とても前向きな話だと思って受け止めています。

状況からすれば、都市部の場合は、保護者の理解があれば、指導者や受け皿も豊富にあるので、現在の部活動をそのまま地域へ移行する形が成立するかと思いますが、宍粟市を含む西播地域の場合は、現在の部活動をそのまま地域へ移行するのではなく、少し形を変えながら移行していく必要があると思います。

例えば、宍粟であれば、アウトドアであったり、スキーであったり、ゴルフであったり、カヌーであったり、既存のクラブ活動にはないのですが、地域の皆さんの理解があれば新たなクラブ活動として地域へ移行する、そういう考え方は成立するかと思います。それも一つの中学校だけでなく、複数の中学校が一定の時期に、年間を通じなくても、特定のシーズンにあったスキーならスキーなど、少し知恵を出し合いながら、宍粟市モデル的な地域移行ができないか、国の方針の中にもそういった考え方がありますので、それに基づいて検討できればと思っています。

(中川委員)

中学校の部活動については学校教育であることから、会費等は発生してないのですが、地域クラブに移行した場合、会費や交通費等が発生するかどうかと思うのですが、その部分は、保護者からすると負担になると思われるので、何か工夫ができればいいなと思います。

(福元市長)

部活動は中学校に入学すれば誰でも参加できるものだったので、それが変わっていくことは、保護者は不安に感じられるかもしれません。それぞれのスポーツ団体のクラブに所属すると、一定の費用負担も発生するということですよ。部活動でしたらそういったことはないので、今後の一つの大きな課題かと思います。

(福元市長)

中学校の体育で、教科として剣道を実施されていると思うのですが、剣道の指導は、体育の先生がやっていますか。それとも地域の指導者がやっていますか。

(中田学校教育課長)

体育教諭が指導しております。

(福元市長)

今後、教育委員会や学校現場との調整の中で、要望があれば地域の指導者が学校へ試行的に行きながら、どういう体制を組めば学校現場の先生の負担を軽減することができるのか、世の中の動きとしてはそうなっていくのだと思いますので、また、調整等について、よろしくお願ひしたいと思います。

(片山委員)

宍粟市では100歳体操など高齢者のスポーツが活発なように思います。市内全体にすごく浸透していますが、ここ数年、今までのように老人クラブを中心に進めていく形が難しいケースが出てきたように思います。自治会の中でも、若い人のサポートがないと安全に実施できないケースが増えてきています。

また、障がい者スポーツの講習会もいろいろ実施されているので、それを自治会に取り入れていくことも一つの方法かと考えています。今までのグラウンドゴルフやゲートボールではなく、ボッチャを取り入れてみることで、高齢者でだんだん体が動きにくくなった人たちがスポーツには参加できないと考えるのではなく、体が動かしにくくなった人たちも取り組めるスポーツを自治会活動に取り入れることで、より高齢者スポーツの幅が広がっていくのではないかと考えています。

特に老人クラブの解散が最近増えており、それぞれの自治会の中で老人クラブをどう運営していこうか苦慮されており、そういった部分も含めて、障がい者スポーツの推進ということについて、積極的に取り入れていくべきかと思っています。

(福元市長)

100歳体操については、地域包括という大きな概念の中で、高齢者の健康増進、通いの場づくりとして、124の団体に取り組んでもらっています。先日、話を聞いたところでは、山崎地区内の老人クラブで2地区ほど運営ができないところがあるとのことで、それは会長や世話役を引き受けてくれる方がいないとのことでした。これは山崎だけでなく、一宮、波賀、千種も含めて宍粟市全体の問題であります。

高齢者の皆さんに生き活きと生活していただくために、高齢者とスポーツのあり方を適宜見直していく必要があるかと思っています。事務移管を進めて、より福祉部局との連携も積極的に図っていきたいと思います。

また、障がい者スポーツの講習会を7月に波賀で実施しましたが、老人クラブの問題と同じように、リーダーを次の世代につないでいきたいのだがなかなか成り手がいないとのことでした。同じような課題がありますので、これらのことも大局的に整理しながら、前に進めてきたいと思っています。

(福元市長)

それでは意見交換を行いました「スポーツに関する事務を市長部局への移管」について、了承いただけますでしょうか。

(委員)

異議なし

(福元市長)

ありがとうございます。それでは全員了承いただいたということで、今後事務を進めさせていただきたいと思っています。

3 その他

なし

4 閉会

● 中田教育長あいさつ

今日の議題にありました宍粟市の教育大綱の見直しについて、この大綱は重要で、いろんな法改正を経て、市長とこういった場で教育についての意見交換ができることや、その他にも非常に大切なこと、教育の根幹を成すことが書いてあるとあらためて思いました。

また、今日はスポーツに関する事務を市長部局へ移管するということで、今後円滑に移管が進むよう、教育委員会としましても、市民生活部としっかり連携しながら進めていきたいと思いをします。

スポーツに関連する第2期社会教育振興計画については、令和3年度に策定し、令和4年度から計画期間が始まっていますが、新しい社会教育像を目指す中で、スポーツ基本法に基づく本市のスポーツ推進計画が策定されたならば、スポーツ分野においては社会教育から少し切り取って独立した形になればと、当初からその考えは持っておりましたが、それが今回このような形で事務移管を進めていくこととなりました。

スポーツ推進計画の策定に私も少しだけ関わらせていただきましたが、印象に残っておりますのは、その中で実態調査に基づく計画が大事だということで、市民の皆さんからスポーツに関するアンケート調査をとられたのですが、先ほど片山委員がおっしゃった高齢者に関する部分で、アンケート調査に一番たくさん回答された世代は50代から70代の皆さん、そこが一番多かったことです。健康志向の高まりもあって、その世代の人たちが非常にこのスポーツ推進計画に関心を持っていただけたのではないかと思います。また、多様な人たちが関わるができるスポーツができればいいなと感じました。

今後、スポーツを通じてのまちづくり・人づくりを推進していくためには、この事務移管によりスポーツ振興が図られていくことが大事です。教育委員会として、学習指導要領に定められる部活動や学校体育の分野については、引き続きしっかりと責任を持って対応しながら、今回の事務移管がスムーズにいくように努力してまいりたいと思いをします。

今日は総合教育会議ということで、久しぶりに、市長を交えていろいろな協議をすることができました。これから梅雨が明け暑い夏を迎えるのですが、健康に気をつけていただき、この夏を乗り切ってください。それではこれで第21回の総合教育会議を終了いたします。

皆さん本日はありがとうございました。